

学校の在り方地区検討委員会（下北地区）

【第3回】概要

日時：令和8年4月22日（水）

9：30～12：00

場所：プラザホテルむつ

プラザホール

<出席者>

野崎委員、太田委員、阿部委員、奥島委員、村上委員、曾根委員、岸委員、久慈委員、坂部委員、伊藤委員、高屋委員、高瀬委員、今井委員（進行役）

1 開会

2 事務局説明

事務局が資料1について説明した。

3 意見交換

（1）単位制や少人数学級編制、学科、学校配置の方向性

○ 下北地区では普通科にも少人数学級編制が必要だと思うが、検討しないのか。
→（事務局）少人数学級編制については様々な御意見をいただいているが、前期実施計画では、実習における事故防止やきめ細かな指導を行うことを目的に、商業科及び家庭科へ拡充することを検討している。

○ 少人数学級編制は効果があると思っているので、普通科への拡充も検討してほしい。

→（事務局）単位制の導入により開設科目が増え、少人数指導が行われていると聞いている。また、各校において、生徒の進路志望等に対応した個別の指導を行っていると言っている。

○ 単位制により丁寧な指導を行うことができるとのことだが、教員の確保はできているのか。

→（田名部高校）多様な選択科目を開設できるほど十分ではない。

→ 以前、田名部高校に勤務している時に単位制に移行した。教員が3人増え、1学年の国語、数学、英語の授業を複数に分けて実施したことがある。田名部高校は教室が少ないため、全学年での展開は難しいかもしれないが、複数展開や選択科目の開設は可能だと思う。

○ 教員と教室の確保をお願いしたい。

○ 少人数学級編制の普通科での実施に対する課題はあるか。

→（大間高校）2学級70人の募集に対し、1学級規模の生徒が在籍しているが、

2学級で編制していることから実質的に少人数学級となっている。また、70人の収容定員に見合った教員が配置されているため、きめ細かな指導を行うことができているが、1学級の募集となると配置される教員が減ってしまう。

→（田名部高校）近年は全員入学の状態が続いており、生徒の学力の幅が広がっている。生徒に見合った習熟度別の少人数指導を行いたい、十分な教員数でないことや教室数が限られていることが課題である。

○ 前期実施計画の方向性は納得できるが、本当に実現できるか考えなければならぬ。定数を満たすように教員の配置をお願いしたい。全ての教育資源を全ての県立高校の生徒に開放してもらえれば、教員が足りなくても何とかなるかもしれない。

全ての県立高校の生徒が自ら望む科目を履修し単位取得ができるよう、遠隔教育の推進や単位の認定制度の改善を行う必要がある。また、県内の専門学科がある高校の施設設備を他の高校の生徒が利用できるようにしてほしい。

（2）全日制課程の学校規模・配置

○ 前回の会議の結論は、下北地区統合校の教育活動が分からない状況では学校規模・配置について議論はできないというものであったが、この場で提示できるものはあるか。

→（事務局）今年度、むつ工業高校に開設準備室を設置し、教育課程等を検討している。統合校は、むつ工業高校にある3つの学科が2つに統合されて学びを確保することと、大湊高校の総合学科が引き続き設置されることから、基本的には現状の学びが確保されるという前提で議論いただきたい。

○ 前回もその前提はあったが、具体的な意見交換はできなかった。開設準備室で決まったことは早めに公表してほしい。方針でも構わないので、逐一こどもたちに情報提供をお願いしたい。

○ 大間高校が入学者数の実績に応じて1学級になるという説明だったが、学級数が減ると教員数も減ってしまう。1学級募集になると希望する生徒は減ってしまう。

→（事務局）令和9年度までの第2期実施計画では、入学者数が40人以下の状態が2年間継続した場合、翌年度に1学級規模とすることとしている。令和10年度以降の前期実施計画では、地域協議会で学校の活性化に向けた方策等を協議することとしている。

○ 活性化を図るにも教員数が必要である。県教委に対し地域校が所在する町村で要望活動を続けてきたが、1つも叶わないのであれば何も意味がないと思う。

○ 第2期実施計画では、基準により1学級となるとのことだが、前期実施計画における地域協議会では、募集学級数を2学級とするのか1学級とするのか協議することはできるのか。

- (事務局) 協議内容としては想定していない。
- もし第2期実施計画期間中に1学級に減った場合、前期実施計画期間は1学級のままだのか。
- (事務局) そのとおり。
- 大間高校は、北通り地区を中心とした子どもたちにとって貴重な意味を持っている高校である。1学級になると教員数やカリキュラムを維持することが難しく高校の魅力が低下してしまうため、2学級を維持してほしい。
- 学校配置の基本方針に「高校教育を受ける機会の確保」と「充実した教育環境の整備」の2つの観点のバランスとあるが、バランスは地域によって違うと思う。
- 2学級を維持できないことは理解できるが、1学級になっても少人数学級編制を実施した上で教員数も確保し、多様な教育の提供をお願いしたい。
- 保護者の立場とすれば、大間高校を2学級にしてほしい。少人数学級編制で2学級とすることも検討してほしい。
- 地域協議会の中では2学級に増やすという協議は想定していないという回答だったが、地域共育校制度を導入することとした基本方針と大きく異なるのではないか。確認の上、回答の修正をお願いしたい。
- 学校配置の基本方針として、「学級減で対応」と記載しているが、「学級減もしくは学科再編で対応」でなければならないと思う。学科の改編等も含めて考えていかなければ、この10年間の大きな生徒数の減少に対応できる高校にならない。
- 事務局の方向性としては、田名部高校を1学級減らすということか。
- (事務局) そのとおり。
- 田名部高校が仮に4学級となった場合、校長としてはどのように考えるか。
- (田名部高校) 本校は全員入学の状態です。学力層が広がってきている。下位層の生徒が少なければ、より上位層の生徒に焦点を当てた指導ができるという意味では、進学校における1学級減は効果があるかもしれない。ただし、学級減に伴い教員数が減れば十分な効果は期待できない。
- 田名部高校を1学級減ずる目的、長所、課題等があれば示してほしい。
- (事務局) 学級減に伴い教員も減るため、教科・科目の学びの充実という点では課題が生じる。一方で、校長から話があったとおり学力の幅が広がっている

現状に対し、より高みを目指す生徒への教育に集中できるという面もあるかと思う。

- 田名部高校を1学級減ずるということで良いか。
- 教育活動を充実させるために、学級数が減っても教員増配置が確実に実現されるのであれば、田名部高校1学級減も理解できる。しかし、教員増配置が満たされないのであれば、「よい」とは軽々に答えられない。

- 未来デザイン科は、産業界や行政との関わりが強く求められる学科だと思う。下北地区の取組が特徴的なものにできればと思っているため、話し合いをしながら地域が関わられるようにしていきたい。

- 未来デザイン科は大間高校への設置を念頭に置いた方向性だと思うが、地域との連携について現状をお話しいただきたい。
→ (大間高校) 放課後の学習において地域のことについて学んだり、地域を対象にしたボランティア活動を行ったりしている。

- 未来デザイン科の設置は大間高校が妥当であると考えられる。

- 大間高校に未来デザイン科を設置する場合、普通科はなくなるのか。
→ (事務局) 普通科を未来デザイン科に改編するイメージである。国の普通科改革において、普通教育を主とする学科についても普通科以外の学科を設置できるようになったが、基本的な学習内容はこれまでと大きく変わらない。
- 未来デザイン科では、国公立大学への進学を目指す指導を行うのか。
→ (事務局) 進路が大きく変わることはないと認識している。
- 地域社会に関する学びを行いながら大学進学にも対応する必要があるため、大間高校が1学級となった場合でも教員配置への配慮があればありがたい。

(3) 定時制課程・通信制課程の学校配置

- 現状、定時制課程・通信制課程はセーフティーネットではなく、子どもたちの選択肢の一つとなっており、生徒数が増えていることからきめ細かな対応が難しいという状況にある。加配等の配慮により、これまでと同様の指導ができる環境をお願いしたい。

- 田名部高校の現状を話していただきたい。
→ (田名部高校) 定時制課程は60名を超える生徒が在籍しており、8人の教員で対応している。通信制課程のスクーリングを協力校でも受けられるようにするとのことであるが、対応する教員が当然必要となってくる。

- 例えば、田名部高校の定時制課程を大湊高校に移転し、通信制課程のスクーリングを併せて行うことも一つの方策だと思う。
- 夜間に公共交通機関がないことから定時制課程への進学を諦めている生徒がいると聞いているため、昼間定時制課程の設置もお願いしたい。

(4) その他

- 令和9年度に募集停止する大湊高校について、計画的な人事配置や兼務発令によって、教育活動の充実を担保してほしい。
そして、閉校後も田名部高校と統合校において同様の対応を維持し、地域の教育環境の充実に努めるべきである。第1回会議で市長が述べた「1校2キャンパス制」のような本地区高等学校教育の最終的な「あるべき姿」をイメージする必要がある。
- 下北地区統合校の早めの情報提供に加え、リーフレット等で周知も図ってほしい。
- 保護者への早めの情報提供もお願いしたい。
→ (事務局) 6月末に中学校に出向いて状況を説明する予定であり、簡易版ではあるがリーフレットを作成すると聞いている。
- 中学校では教員の未配置がある中、ギリギリで教育活動を行っており、学力水準の確保や学力向上という声に対応するのは本当に厳しい。
- 高校教育改革について、生徒、保護者、地域住民に伝わるように丁寧に説明をお願いしたい。

4 閉会